

聖金曜日 主の受難 盛式共同祈願 (広島教区の追加意向の例文)

「重大な公の必要が生じた場合、教区長は、他の特別な意向を付け加える許可を与えるか、または、付け加えるよう規定することができる」(『ローマ・ミサ典礼書』規範版第3版、314頁、13番) ことになっています。聖金曜日の盛式共同祈願に、広島教区においては、以下の2つの意向を付け加えてくださいますようお願いいたします。以下の例文をご活用ください。

【戦争や紛争の終結】

今なお続いているウクライナでの戦争や世界各地の紛争の終結のために、すべての人のいのちと権利が保護され、政治をつかさどる人々が、対話による平和を実現することができますように。

しばらく沈黙の後、唱える。

全能永遠の神よ、あなたは思い上がる者を退け、悲しむ人を支えてくださいます。
ウクライナでの戦争や世界各地の紛争によって
亡くなられた方々には永遠の安息を、
犠牲となって悲しむ人々には必要な助けをお与えください。
核兵器が二度と使用されないように導き、
対話による平和の実現の日を早めてください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

【新型コロナウイルス感染症の終息を願って】

新型コロナウイルス感染症の終息を願って祈りましょう。
父である神が、感染症によって亡くなった方々には永遠の安息を与え、
感染症に伴うあらゆる困難や苦しみから、人々を解放してくださいますように。

しばらく沈黙の後、唱える。

全能永遠の神よ、
人が悩み苦しむとき、支えてくださるのはあなたです。
あなたの恵みによって、感染症の終息の日を早めてください。
亡くなったすべての人に永遠の安息が与えられ、
今なお、さまざまな苦しみや困難の日々を過ごす人々が、
あなたのいつくしみに慰めを見いだすことができますように。
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

以上